

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月13日(木)

事務事業		未熟児養育事業		担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	29324	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	母子保健法 深谷市母子保健法施行規則 深谷市未熟児養育医療給付実施要領 養育医療の給付に関する費用徴収実施要領					
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うとともに、訪問指導等を通じて、未熟児のすこやかな成長と保護者への育児支援を行うものである。								
目的 ※何のために		未熟児のすこやかな成長を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		未熟児とその保護者								
手段 ※どのように		未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導を行う。								
成果 ※何を求めるか		未熟児のすこやかな成長を図るため、未熟児とその保護者に対して未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導等を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、未熟児特有の養育を理解し子育て意識の醸成に繋がる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額 (円)		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	母子保健費	未熟児養育事業	9,299,529
本事業の 主な業務		・ 未熟児養育医療の給付					・			
		・ 未熟児訪問指導					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	11,815,000	11,828,000	12,376,000	11,042,000		
	決算額	11,449,671	9,299,529	0	0		
	財源内訳	国支出金	3,291,750	3,296,300	4,743,000	4,274,000	
		県支出金	1,645,875	1,648,150	2,371,000	2,137,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	2,417,570	1,846,640	2,874,000	2,476,000	
		一般財源	4,094,476	2,508,439	2,388,000	2,155,000	
人件費	従事職員数（人）	0.28	0.29	0.28	0.28		
	人件費相当試算※	2,203,476.00	2,322,948.00	2,341,052.00	2,341,052.00		
総事業費試算		13,653,147	11,622,477	14,717,052	13,383,052		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	未熟児訪問回数	目標値	回						
		実績値		51.00	36.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			未熟児の出生数により変動するため設定できない / 訪問回数（延べ）					
	実績値の算出式								
活動指標 2	養育医療券の交付数	目標値	件						
		実績値		46.00	30.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請による交付であるため目標値の設定はできない / 交付数					
	実績値の算出式								
成果指標 1	養育医療給付件数	目標値	件						
		実績値		118.00	88.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			未熟児 1 人あたりの養育医療給付件数は児の状況により変わるため設定できない / 養育医療給付延件数					
	実績値の算出式								
成果指標 2	養育医療給付額	目標値	千円						
		実績値		11,437.00	9,288.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請による交付であるため目標値の設定はできない / 養育医療給付額（市支弁額）					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	今年度は、未熟児養育医療の申請をした児が例年より減少した。 また、1,000 g 以下の超低出生体重児の出生はなかったが、退院時には医療的ケアが必要な児もあり、児の退院前から産婦訪問をはじめ、面接や電話相談で産後うつ予防や育児不安の相談に乗ることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	令和4年度に比べ、給付延べ件数、給付額ともに減少している。 未熟児養育医療は、児の出生体重や疾病等の状況により給付件数等に変動がある。
評価者			保健指導第1係長 石川 初恵 第2係長 小井土 和美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	未熟児養育医療の対象者は、疾病等により長期に相談を受ける場合もあるため、データ管理できている。
評価者			保健指導第1係長 石川 初恵 第2係長 小井土 和美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	重い疾病を抱えている未熟児の保護者への支援が必要なことも多く、グリーフケア等についても学ぶ必要があることから、研修等を活用し、知識の習得に務める。
達成状況及び その効果	県のグリーフケアの研修会に参加することができた。また、未熟児の特性を理解し、保護者を支援していけるように研修等を活用し、知識に習得に務めることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	未熟児養育事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	29324
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>未熟児の出生数は、年度によって変動がある。出生直後から児の疾病や障害の問題と向き合う保護者もあり、児を自宅に迎えることに不安を訴える場合もあるため、保護者への支援が重要になっている。今後も産婦訪問や児の退院後早期の新生児訪問などを通じて、保護者支援を実施していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 笠原 正幸				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	未熟児養育医療を申請する児の状況は多様化しており、未熟児に関する支援について、保健師間で知識の共有、伝達が行えるよう、研修会等の場を活用する。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

